軍艦平戸進水式ノ件

1343

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

急

起案軍紙第一號

明治四十年六月七日起案

主務

大臣

次官

副官

局員

軍令部長

次長

第一班

經理局長

第三部

第一部

第二部

艦政本部長

會計課

明治四十四年六月七日　大臣

吳鎮司令長官

來八六月二十九日神戸川崎造船所ニ於テ二等

發送番號　官房第一九八八號

艦會

6-3

1344

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

巡洋艦（平戸ト命名セラルヘキモノ）進水式擧行ニ付成久王殿下ヲ被差遣候旨御沙汰有之候ニ付テハ其麾下一艦ヲシテ当日神戸港ニ在泊セシメ満艦飾及皇礼砲ヲ施行セシム様取計フヘシ

追テ同港ニハ当日練習艦隊在泊ノ豫定ニ付右儀礼ノコトニ関シテハ派出艦長ヲシテ同艦隊司令官ノ定ムル所ニ依ラシムヘシ

右訓令ス

（終）

官房第九八一號ノ二

明治四十四年六月七日　次官

練習艦隊司令官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

（前文）御沙汰有之候ニ付テハ当港ノ同日神戸港ニ在泊セラルル法希望ハ至極同意ヲ表スル處ニ有之不当異議ヲ対ヨリ一艘ヲ同港ニ派遣セシメラレ当日施行スヘキ儀礼ノコトニ一案シテハ当日ノ所定ニ従ハシメラレハ各国ノ当ノ当日殿下宮様ノ出門前満艦飾ヲ施シ該当迄ノ所ノ法着ノ節及法迄ノ除自礼砲ヲ発スルコトトシ法ヲ以テ迄ノ計ハ事様改ム

右申進ス

官房第一九八一號 1/3

明治四十四年六月七日　次官

兵庫知事

海　軍

終

1347　1346

附箋紙

神戸港入港予定船舶

1347　　1346

附箋紙

昭和一二年六月二日

海軍省軍務局

第二部御中

本件ニ関シ陸軍ハ不日予算概要ヲ請求アルトキハ既定配分額ニテ実施ニ支障ナキ様配慮ヲ願ハシシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

川崎造船所長

（前文）

渉沙法候趣宮内大臣ヨリ申有大臣

通陸軍ニ

右通知ス

追テ法令案別紙ハ別ニ通知可ス

（終）

（了）

六月三日發付濟

拜啓陸海

來ル二月二十七神戸川崎造船所ニ於テ二等巡洋

艦（平戸ト命名セラルヘキモノ）進水式擧行ニ付成久

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

王殿下ヲ被差遣候旨

御沙汰相成候處都合有之當分見合ヲ申越有

之候處今般右都合之次第相済候ニ付清中上ケ相

来ル□□頃御都合等ニ寄リ御内意有之候ニ付

然ルヘク様御取計相成度此段申進候也

明治四十年□月三日　次官

成久王附属

皇族附武官朝川瀬平殿

（陸軍砲兵中佐）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

海

軍

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

閲覧

軍務局

艦政本部

宮内大臣官房文書課

甲第二八四號

来ル六月二十九日神戸川崎造船所ニ於テ二等巡洋艦（平戸ト命名セラルヘキモノ）進水式挙行ニ付成久王殿下ヲ被差遣候旨　御沙汰候條坊殿中進候也

明治四十四年六月一日

宮内大臣伯爵渡邊千秋

海軍大臣男爵齋藤實殿

軍務局受印　六月二日

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

追テ殿下御臨場ノ御都合ハ
貴官ヨリ直ニ御申上有之
度此段申添候也

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

起案單紙第一號

明治四十四年五月廿日起案　拾印

主務　軍務局長　栃

局員

大臣

次官

副官

參事官

小林

アト　陸政本部長

第三部

會計課

三部會計課

明治四十四年五月二十四日　大臣

宮内大臣

皇族ニ特旨場ヲ仰キ度件

發送番號　官房第八〇三號

海軍

1353

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

來八六月二十九日神戸川崎造船所ニ於テ二等巡洋艦（平戸ト命名セラルヘキモノ）進水セシメラレ候ニ付皇族殿下臨場ヲ仰ク候樣執奏方ヲ御内願計ヲ以テ

右取計ス

（終）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

流44-6-1

加藤総督

総督府

1355

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

就テハ公ス問題ニシテ起ル二十名ノ家族
問題ハ他ノ事ト異ニシテ院ニ於テハ
陽其部ニ別ノ名トシテ250トスル飯
方ニ獲得セラレタル他ノ下心ニテ
世之孫雅モガ会ニ之孫ノ他仕打ニ
就テモ二ハ家ニ院ニ関ル相合セ
ノ分ニシテ別ノ足ヲ以合ノ
場合セリニテ世ノ位ニ他ノ心持ナ
ハ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報拾壱年元旦快哉
積合に付気
配に付見へ付る日の時
念ゝ祝
上付
吉田茂
松平

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

九月廿日

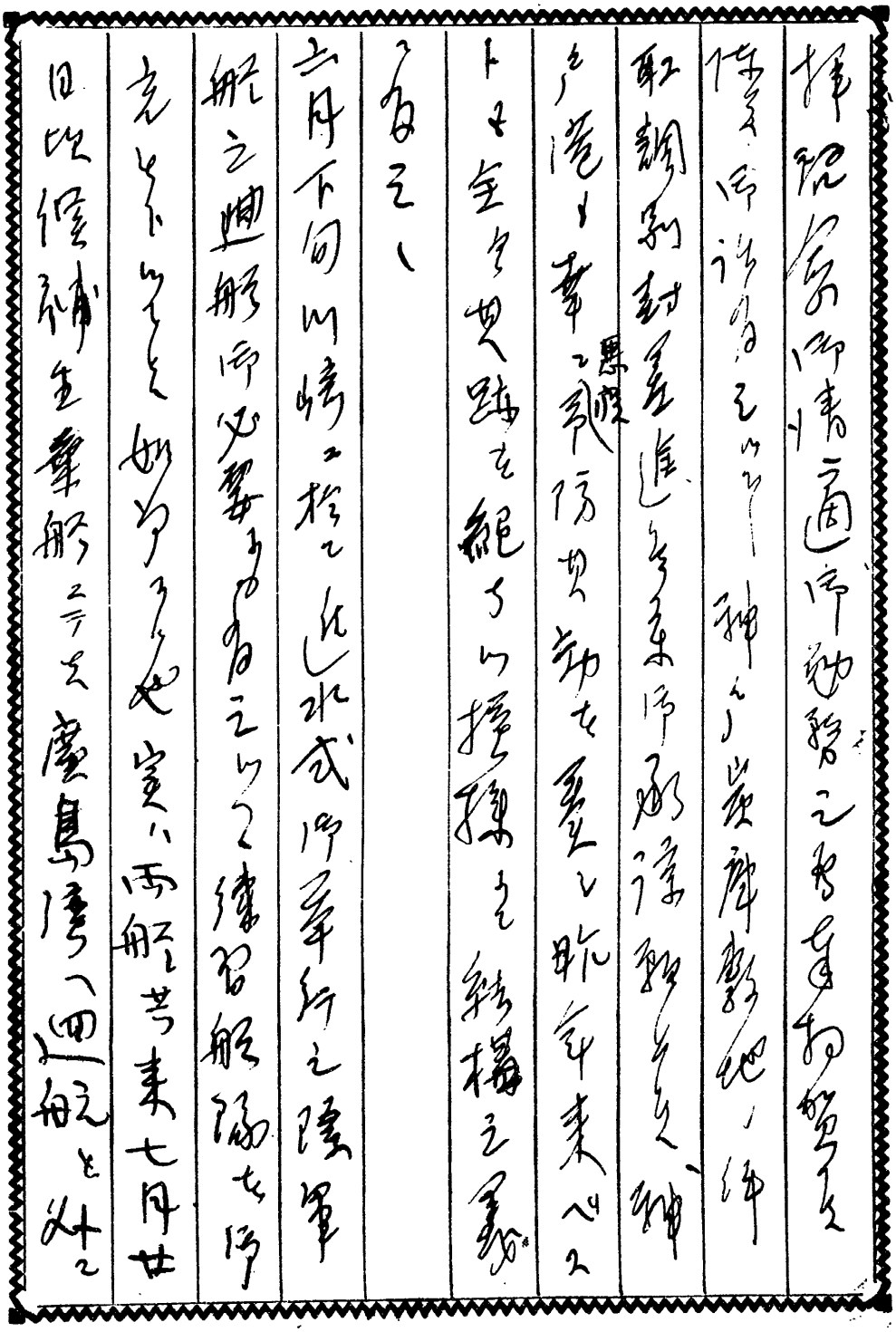
東京
海軍省
財部次官閣下

大臣ヨリ親展
写新造艦
名称ニ付テハ
ご笑軍艦
宗谷

加藤寛治

1358

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

二合夜ニ入リ石炭ヲ以テ水雷発射施行ノ為メ第
一船海ニ出来ル新補之操舵員ノ練習ヲ
兼ネ出ラルル場所、第七隊神戸ヘ往復相
出来ル可ク然ル如ク御合ヲ為シ且所船ニ対シ
石炭積数二百五十頓ヲ増数ヲ以ル如ク地之為
ス上ノ増量ヲ要セザル義ニ付之ハ又所船訓
練其他ニ特ニ来月下旬来ル備ヲ又清
国ニ都合ニ付度ク如ク所案考ニ一寸申
置ク、就テハ幸ニ右撮所使ノ所内撮ヲ
為シ可ク予定行動使ノ都合ヲ為シ所

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

第3號

明治　年　七月　廿日

内意伺示ニ付テハ幸基ニ照屋ニ

右申述ニ付至急明後廿日ニ

松宮

如何ニ

就テハ

御下

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

芳翰拝誦当艦隊平定迄水式之為メ迴航之件ニ付内議示之敬承仕候石山氏ノ義ハ内閣ニ通敵ニ付特ニ増額セラレザルモ宜シケレト所船現在ニ充ル分ニ於テ出会之前船ニ残額あるを以テ会計ノ余剰ノ為ニ出阿蘇ニ在テハ残額皆無ニ付ノ故ヲ以テ海軍ノ迴航ノ為ニハ会計ノ補充モ難シ乍ラ而メ船政局ニ於テハ修繕費ニ付テハ石山氏ニ主ト其

明治四年十月四日

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

艦隊決定ニ付キ理由ヲ以テ今回近海航路
廢止ニ即チ現今ニ在テハ補充ニ付キ石炭
ヲ皆無ニ義ニ付キ依テ明後日阿蘇丸
第一上海調ヘ以テ果シテ補充ヲ要シ
ル義ニ付キ航ヲ向テ近海航ニ對シ
石炭載ルカノ航路ヲ請求致ス
来ル廿五日ノ事
阿蘇丸近海航路大要ノ決定
ニ部ヲ見ルニ付キ来ル遠ニ帰
ヒ次ニ今回行動ヲ為ス迄ニ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

第3號

明治　年六月四日

於て強る困苦難苦ハ義務所拙者等の敢

ひとく

本事務事所依頼と

相成

相内之

其方

1364

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

大臣官房

軍務局長　（印）

局員　（印）

[redacted]

供覧

要

大宮御所御下賜品伝達式ニ関スル件

ニ関シ打合セノ件

一〇、六、六　大宮御所事務官ト於陸軍省打合セ

一、時日ハ廿六日夜鳳輦ニテ廿八日午前八時三十分ノ急行ニテ参来

二十七日午后六時半乃至ハ二十八日午前九時

二十八日午前八時半乃至ハ着ハ二十八日午后九時三十分

二、陸軍省ニ於テ次官ノ上受領アル筈

三、御拝領ハ書類并花瓶廿八ノ額御一箱

四、廿八日午後（予定）ノ急行ニテ御帰京ノコト

五、陸軍ハ御料御諸費（若干）ヲ各宮家ニ於テ一名或ハ二名

六、神戸港ニ於テ自動車ハ近衛師団ヨリ準備スルコト

（一〇臺用一名　以降用一名ヲ用フ）

六、参列者ハ御料所御召人ノ節会乳児ノ参列ナシトシ参列者

七、参列ノ方ハ御召ハ中止ノ事

1365

花崎納
1366

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

電報略符ゾウセン

電話番號
長八五六（重役室）
一五一（庶務課）
一六七七（會計課）
長七三七（倉庫課）
二五八七
六三三（造船工作部）
一三六二（造機工作部）
一六七八（修繕部）
二四〇五（兵庫分工場）

株式會社川崎造船所用箋

第二〇五號

明治四十三年六月十日

神戸市東川崎町貳丁目

株式會社川崎造船所

社長 松方幸次郎

海軍次官財部彪殿

局員

豫テ御用命ヲ蒙リ弊所ニ於テ建造仕居候二等巡洋艦進水式來二十九日御擧行ニ付 成久王殿下御台臨可被為在ニ付御沙汰ニ御趣官房第一九八號ノ三ヲ以テ御通達ヲ蒙リ雀有謹承仕候此段謹テ御請仕候

敬具

追テ殿下ノ御發着割ニ付テノ御通書モ敬承仕候再具

1367

6-12

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

供覽

軍務局

海

練隊第二六九號

明治四十四年六月十一日

練習艦隊司令官加藤定吉

海軍次官財部彪殿

神戸川崎造船所ニ於ケル進水式ニ関スル件

来ル六月二十九日神戸川崎造船所ニ於ケル進水式ニ関シ官房第一九八一號ノ二ヲ以テ御申越ノ件了承就テハ當隊ハ来ル二十六日午後廣島湾發二十七日午後神戸ヘ着七月一日午前神戸發廣島湾ニ向フ豫定ニ致居候条為念

右申進ス

練習艦隊司令官印

海軍

六月十三日

1368

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

1369

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

[illegible]
官房第一九八一号ノ二（西園寺より謝電）
を以て本月六月二十九日御戸川停車場
於ける二等退席（二等ノ）の進れ式の関する次の通り
通牒有之、

……尚お吳鎮守府より一兵を同港に派遣せ
られ当日施行すべき儀礼に関しては貴官の管
轄せられ、実況を知る当日　殿下に旅
館を高崎に飾を施し談話所へ出着
し之即及退出の際皇礼砲を発せらるべき
ことと

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

生サヌオ付

右ノ関ス儀伏隊及儀仗衛兵ハ西平教育式ヲ
ヨリ差出セシモノトスヤ否ヤ聊カ疑義ヲ
抱リ、茶毛ノ為ノ内国ヲ、ヲ得ル以依事
ヤ之ヲ
追ツテ呉鎮守府ヨリ派遣セシ一隊ハ四殿ヲ
決定セラルル右ノ呉ヤ各ヨリ回報ノ接ヲ
右用ヲ以テ以ツテ所用以内生ハ特ヲ以テ
ヨロシク
一切ヲ
小林大尉

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

供覽

軍務局

艦政本部

第三部

第二部

會計課

福田

行動要領は不要

海軍

呉鎮第六〇四號

明治四十四年六月十一日

呉鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣 男爵 齋藤實殿

局員

官房第一九八一號訓令ニ對シ該住所ヲ武當日軍艦嚴島ヲ神戸ニ生徒セシムヘク依來

右報告ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

起案罫紙第一號

明治四十四年六月二十日 次官

吳鎮長官、練隊尽官、吳在勤務ヲ命ジ、川崎造船所ヲ

成次官殿下ニ於テ發令ス

海軍官房接受

大臣 官房第二七四號

大臣

次官

副官

參事官

局員

主務 軍務局長

明治四十四年六月二十日起案

起案者

發令後起案者捺印

發令後起案者捺印

艦政本部長

第三部

會計課

1373 44.6.22

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

来二月ヨリ神戸川場造船所ニ於テハ造船費ニ付
ヲ差出ス成ル丈ケ節減ニ注意致シ割ル様
ニ致サンコトヲ
右通達ス

（別紙一覧表）

（終）

「川場造船所」ヲ「神戸川場造船所」
ヲ「貴造船所」ニ改メコト

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

御發着割

六月廿七日午後六時三十分　新橋御發車

仝　廿八日午前九時　神戸御着

仝　廿九日　音羽尾山　清泉寺　遥水武台臨

仝　日　午後六時三十分　神戸御發車

仝　三十日午前九時　新橋御着

以上

遥ヲ臨中ハ御ノ字

北白川宮

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

供覽

軍務局

艦政本部

拜啓當宮殿下来二十九日川崎造船所ヘ被
差遣候有二十八日午前九時神戸御着奇羽
花壇御一泊可被遊候間別紙御益着劃
相添此段申進候也

明治四十四年六月十七日

北白川宮附

家扶山邊知春

海軍大臣男爵齋藤實殿

北白川宮

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

供覽

軍務局

吳鎮第六〇号 一〇

明治四年六月二十日

吳鎮守府参謀長名和又八郎

海軍大臣 財部彪 殿

二等巡洋艦進水式當日神戸在泊艦

艇ノ件

来ル十九日神戸川崎造船所ニテ二等巡洋艦進水式當日軍艦豐橋及第一、第二、第八、第九潛水艇並母艦歷山丸巡航、途次合港ニ在泊可致ニ付為念

右通報ス

局員

小牧

六月廿二

1377

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

急

起案用紙第一號

明治四十四年六月廿日起案　起案者捺印　発行　発行者捺印　決行後起案者捺印

主務　事務官長　局員

大臣　次官　副官　参事官

海軍大臣

第三部　會計課

明治四十四年六月廿四日　大臣

川崎造船所社長松方幸次郎ヨリ

今般貴造船所ニ於ケル軍艦進水式ニ侍從武官

發送番號　官房第二三三四號

六月廿四日　官房接受

1378

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

島内桓太ヲ被差進ハ与侍従武友長ヨリ通牒
有之候
右及通達候

（終）

官房第二二三四號ノ二

明治五年五月二十四日　大臣

長崎県令

侍従武友　島内桓太
右神戸川崎造船所ニ於テ雇入ル武ニ付
ハ新貨八拾ヨリ通牒有之候ニ付
右通達ス

（本件川崎造船所ニ於テ通達済）

（終）

注　軍

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

官房第二二三四號ノ三

明治四十四年二月二十四日　海軍

練習艦隊司令官

（右同文）通牒有之

右為参考通知ス

（終）

海軍

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

武海第二〇號

侍従武官島内桓太

右神戸川崎造船所ニ於ケル軍艦進水式ニ被差遣ヲ命ジ少佐ニ昇任ス

右申進ス

明治四十四年六月十三日

侍従武官長男爵中村覚

海軍大臣男爵斎藤実殿

侍従武官長印

宮内省

(三四)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

栃

御請書

来ル二十九日波號二等巡洋艦進水式挙行セシメラレ候ニ付キ侍従武官島内桓太殿御差遣被為在候旨官房第二二三四号ヲ以テ御沙汰ヲ蒙リ謹テ御請仕ル矣 拝具

明治四十四年六月二十五日

局員

神戸市東川崎町貳丁目
株式会社川崎造船所
社長 松方幸次郎

海軍大臣男爵齋藤實閣下

軍務局接受
44 六月廿七日

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

本三谷庫川崎造船所

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

電報

川崎造船所長

海軍省副官

二十七日 艦政本部長ヘノ電報 写真及低部写真

一件 善支十二

局員

六月二十八日 発送済

海軍

6. 23

1384

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

艦政本部長

第三部

會計課

電務局長

電文譯

四十四年六月二十七日発

川崎芳太郎

艦政本部長

波羅ニ等巡洋艦進水前ノ艦體ヲ寫真ニ寫シ新聞ニ搭載方及ビ進水現状ヲ寫シテ活動寫真ニ寫スコトヲ聞キ届ケ願フ

終

海軍

1385

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報送達紙

著局	局	發
受信官署	午 時 分	付受 午 時 分	月 日	第 號	局	報

受信人居所氏名

指定

事記

著信番號	注意	發信人居所氏名
第 壹四八 號	他人へ宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋一直ちに之を配達したる電信局所に寄送すへし決して其受取人に直接又は手渡すへからす	

印牌日局著

44.6.27

44.6.28 受付

製局刷印月四年二十四治明

1386

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

電報送達紙

著局		局			發		
受信常務者	受信 午 時 分	字	受付 午 時 分	月 日	第 號	局	報

受信人居所氏名

2

定指

ウエキセンニウケ
トツシキキトドケ
ヲテラ

事記

著信番號 第 號

注意
他人ヘ宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋し直ちに之を配達したる電信局所に返戻すべし決して其受取本人へ直送し又は手渡すべからず

發信人居所氏名

著局日附印

44.6.27

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

1388

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

なるべくはなるべく

事務は出来

なるべくならば

1389

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

拜啓來ル六月二十九日午前八時弊社

391

當日ハ　北白川宮成久王殿下御台臨被爲在候

入場時間ノ訂正

1390

滿潮及其他ノ都合ニ依リ七時四十分前ニ進水

セシメラルヽモ難計ニ付一般御來賓ハ正七時

迄ニ御入場奉願候

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

拜啓來ル六月二十九日午前八時弊社
ニ於テ建造中ノ帝國二等巡洋艦進水
式ヲ擧行セシメラレ候ニ付當日御來
臨被成下度此段御案内申上候　敬具

明治四十四年六月十八日

株式會社川崎造船所
社長　松方幸次郎

殿

1391

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

御觀覽案内

一、當日ハ雜踏可致ニ付午前七時半迄ニ必ズ御入場願上候
入場口ハ舊湊川尻弊社南門、觀覽券御持參被下度候

二、御服裝ハ左ノ通リ御承知置被下度候
白券（「フロックコート」高輪若クハ御紋付羽織袴 軍服其他制服御着用ノ向キハ御成規通リニ願上候 御婦人ハ白襟御紋付）
青券 相成可ク白券ト御同樣ニ願上候
赤券 赤券ハ標準ヲ定メザルモ式相當ニ見苦シカラザル程度ニ願上候

三、(a) 御觀覽席ハ白、青、赤ニ色別致シ置候間別紙圖示又ハ現場建札ノ通リ御承知願上候
(b) 各國領事團貴顯貴婦人方御觀覽ノ爲メ特別席ヲ設ケ特別御觀覽券ヲ發行致候
(c) 内外新聞記者ノ御觀覽席ヲ設置致置候間記者諸君ハ此所ヘ御着席被下度候

四、御休息所衛生斑及便所等ハ圖示通リ其他ノ御用ハ接待員ニ御申付被下度候（左腕ニ赤色徽章ヲ附着セルモノ接待員）

五、寫眞器ノ御携帶ハ御斷申上候

六、白券御觀覽者ハ式後食堂ヘ御案内可致候（テーブルノ下ニ帽子棚有之候間御承知願上候）食堂卓上ニ配置セル紀念盃及書端書ハ御一人前宛御隨意御持歸リ被下度候

七、青赤券御觀覽者ハ式濟次第指定ノ通路ニヨリ南門ヨリ御退出願上候御退出ノ際紀念盃又ハ書端書進呈可仕候

八、當日ノ式ハ晴雨ニ拘ハラス擧行セシメラレ候

1392

明治四十四年六月二十九日
二等巡洋艦進水式

御觀覽券（白色）

御來臨ノ節ハ本券御持參入場口及觀覽席入口ニテ掛員ヘ御示シ被下度候

食堂券
明治四十四年六月二十九日
平戸進水式

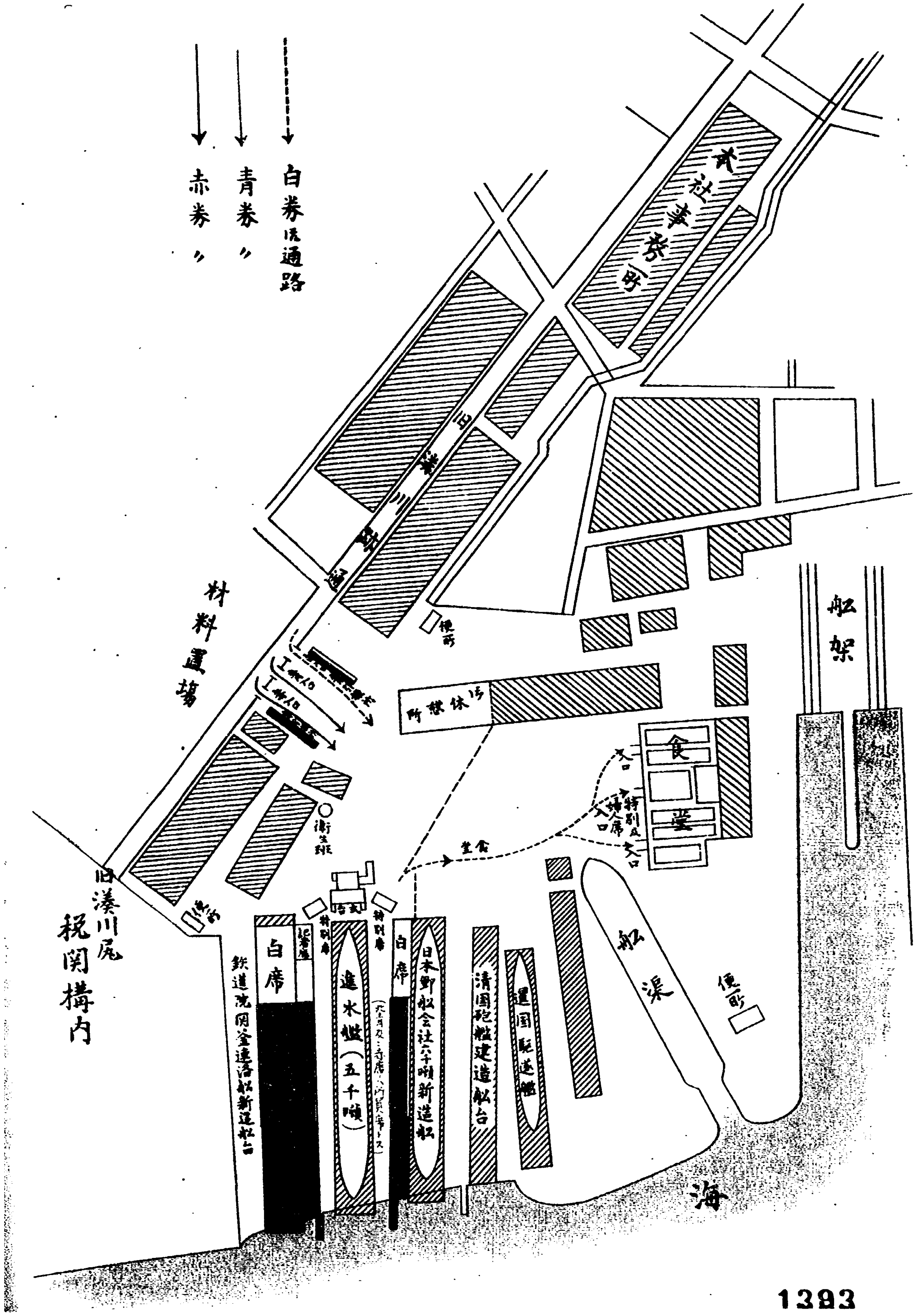
食堂入口ニテ掛員ヘ御渡サ乞フ

（御一人）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍艦平戸進水式場案内圖

明治四十四年六月二十九日



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍令部 艦政本部 軍務局 供覧

電着信紙

受信人居所氏名	発信人居所氏名	着信番號	數紙	着信日附印
タイ湾フクヤマ 至 急	カワサキ	二	第二號	軍務局接受 44 六月廿日 宮下

発局							着局		
局	局員報	號	日	分	字	分	受信取扱者	受付	
友	コラベ	第二七	六月九	八時	九二	午前後 八時			

指定 ウナロヨ

事記

グンカンヒラトイテ
ブジシンスイサト
ドケス

軍艦平戸今無事進水
御届ス
六月二十九日
川崎造船所

1394

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局接受
44六月廿日

宮下

1394

所

水

北白川宮殿下
侍従武官
海軍武官
軍事参議官

1395

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍務局

軍第二五〇號 一三

(栃)

本件ハ別紙之通相成候ヤ
清水セシムヲ
鎮守府ニ之
ヲ派遣シ候
要ニ付ノ
ヒ相成ル
ヒ

呉鎮第一〇〇四號 一九

明治四年六月十九日

呉鎮守府参謀長名和又八郎

海軍省軍務局長栃内曾次郎殿

軍艦隊ヲ平戸港水戸ニ派遣ノ件

本件ニ関シ呉鎮第五〇四号ノ七ヲ以テ及御問合
ヲ以テ軍第二五〇號ヲ以テ御申越ヲ
本件ニ於テハ位置派遣ノ都合ヲ
ニ付了知ヲ以テ
右為念申進ス

局員

海軍

六月廿二日

1396

土佐紙合資会社納

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

軍代二五〇號

供覧

經理局

軍務局長

局員

主任局員

海軍 六月十五日 發 済

昭四年六月十四日 軍務局長

呉鎮參謀長宛

来翰 軍楽隊派遣ニ関スル件

[illegible]江川修造所ニ於テ軍艦[illegible]式挙行ニ

[illegible]ノ軍楽隊ノ派遣也 [redacted]

[redacted] 之御計画モ右之

[illegible]中ナリ

[illegible]ト有之上海[illegible]

ニ記アリ

之ニ付キ[illegible]

[illegible]

1397

軍務局

局員

軍務

軍第二十〇號ノ二

吳鎮第二〇四號ノ七

明治四年六月十六日

吳鎮守府參謀長名和又八郎

海軍省軍務局長柳内曾次郎殿

来ル二十九日神戸川崎造船所ニテ挙行セラル平戸進水式ニハ軍楽隊ノ要レ候事ト存ジ候ガ本府ヨリ派遣ノ御内議ニテモ有之ル事ナルヤ系ニ致シ若シ右様ノ次第ナレハ二十六日當代発艦練習艦隊ニ便乗セレメ帰

海軍

1398

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/

遂ハ三千日神戸発當港ヘ帰艦ノ厳島ニ轉
乗帰国セシメサヘハ経費ヲ要スル事少ナリト使
宜トヒ存ス
右及ビ問合ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Redords
http://www.jacar.go.jp/